












取り違えに特にご注意いただきたい タキサン系抗がん剤 三剤 外観比較表

●外観比較

ドセタキセル水和物		一般名	パクリタキセル			
日本薬局方 注射用ドセタキセル タキソテール®	日本薬局方 ドセタキセル注射液 ワンタキソテール®	商品名	タキソール®			
製造販売：サノフィ株式会社		会社名	製造販売元： Bristol-Myers Squibb 株式会社			
<p>20mg 製剤</p>  <p>41mm</p>	<p>80mg 製剤</p>  <p>53mm</p>	<p>20mg/1mL 製剤</p>  <p>41mm</p>	<p>80mg/4mL 製剤</p>  <p>41mm</p>	<p>製剤写真 (バイアル)</p>	<p>30mg 製剤</p>  <p>45mm</p>	<p>100mg 製剤</p>  <p>62mm</p>
					<p>(外箱)</p>	

ご使用になる製剤の「名称」、「用法及び用量」、「薬剤濃度」等をご確認ください

●組成、効能又は効果、用法及び用量の比較

ドセタキセル水和物 Docetaxel Hydrate		一般名	パクリタキセル Paclitaxel
日本薬局方 注射用ドセタキセル タキソテール [®] 点滴静注用20mg タキソテール [®] 点滴静注用80mg TAXOTERE [®]	日本薬局方 ドセタキセル注射液 ワンタキソテール [®] 点滴静注20mg/1mL ワンタキソテール [®] 点滴静注80mg/4mL ONETAXOTERE [®]	販売名	タキソール [®] 注射液30mg タキソール [®] 注射液100mg TAXOL [®]
1バイアル(0.5mL)中ドセタキセル20mg 1バイアル(2mL)中ドセタキセル80mg ドセタキセル濃度(プレミックス液): 10mg/mL	1バイアル(1mL)中ドセタキセル20mg 1バイアル(4mL)中ドセタキセル80mg ドセタキセル濃度: 20mg/mL	組成／ 薬剤濃度	1バイアル(5mL)中パクリタキセル30mg 1バイアル(16.7mL)中パクリタキセル100mg
乳癌、非小細胞肺癌、胃癌、頭頸部癌、卵巣癌、食道癌、子宮体癌、前立腺癌		効能又は 効果	卵巣癌、非小細胞肺癌、乳癌、胃癌、子宮体癌、再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌、再発又は遠隔転移を有する食道癌、血管肉腫、進行又は再発の子宮頸癌、再発又は難治性の胚細胞腫瘍(精巣腫瘍、卵巣腫瘍、性腺外腫瘍)
乳癌、非小細胞肺癌、胃癌、頭頸部癌 通常、成人に1日1回、ドセタキセルとして 60mg/m² (体表面積)を1時間以上かけて 3～4週間間隔 で点滴静注する。 なお、患者の状態により適宜増減すること。ただし、1回最高用量は 75mg/m² とする。 卵巣癌 通常、成人に1日1回、ドセタキセルとして 70mg/m² (体表面積)を1時間以上かけて 3～4週間間隔 で点滴静注する。 なお、患者の状態により適宜増減すること。ただし、1回最高用量は 75mg/m² とする。 食道癌、子宮体癌 通常、成人に1日1回、ドセタキセルとして 70mg/m² (体表面積)を1時間以上かけて 3～4週間間隔 で点滴静注する。 なお、患者の状態により適宜減量すること。 前立腺癌 通常、成人に1日1回、ドセタキセルとして 75mg/m² (体表面積)を1時間以上かけて 3週間間隔 で点滴静注する。 なお、患者の状態により適宜減量すること。		用法及び 用量	非小細胞肺癌及び子宮体癌にはA法を使用する。 乳癌にはA法又はB法を使用する。 卵巣癌にはA法又はカルボプラチンとの併用でC法を使用する。 胃癌にはA法又はE法を使用する。 再発又は難治性の胚細胞腫瘍には他の抗悪性腫瘍剤と併用でA法を使用する。 再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌、再発又は遠隔転移を有する食道癌、血管肉腫にはB法を使用する。 進行又は再発の子宮頸癌にはシスプラチンとの併用において、D法を使用する。 A法: 通常、成人にはパクリタキセルとして、1日1回 210mg/m² (体表面積)を3時間かけて点滴静注し、 少なくとも3週間休薬 する。これを1クールとして、投与を繰り返す。 B法: 通常、成人にはパクリタキセルとして、1日1回 100mg/m² (体表面積)を1時間かけて点滴静注し、 週1回投与を6週連続し、少なくとも2週間休薬 する。これを1クールとして、投与を繰り返す。 C法: 通常、成人にはパクリタキセルとして、1日1回 80mg/m² (体表面積)を1時間かけて点滴静注し、 週1回投与を3週連続 する。これを1クールとして、投与を繰り返す。 D法: 通常、成人にはパクリタキセルとして、1日1回 135mg/m² (体表面積)を24時間かけて点滴静注し、 少なくとも3週間休薬 する。これを1クールとして、投与を繰り返す。 E法: 通常、成人にはパクリタキセルとして、1日1回 80mg/m² (体表面積)を1時間かけて点滴静注し、 週1回投与を3週連続し、少なくとも2週間休薬 する。これを1クールとして、投与を繰り返す。 なお、投与量は、患者の状態により適宜減量する。